

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成21年6月18日 (2009.6.18)

【公表番号】特表2008-534927(P2008-534927A)

【公表日】平成20年8月28日 (2008.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2008-034

【出願番号】特願2008-503065(P2008-503065)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/547 (2006.01)

G 0 1 N 33/577 (2006.01)

C 0 7 D 305/14 (2006.01)

C 0 7 K 16/44 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 33/53 S

G 0 1 N 33/547

G 0 1 N 33/577 B

C 0 7 D 305/14

C 0 7 K 16/44

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月19日 (2009.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

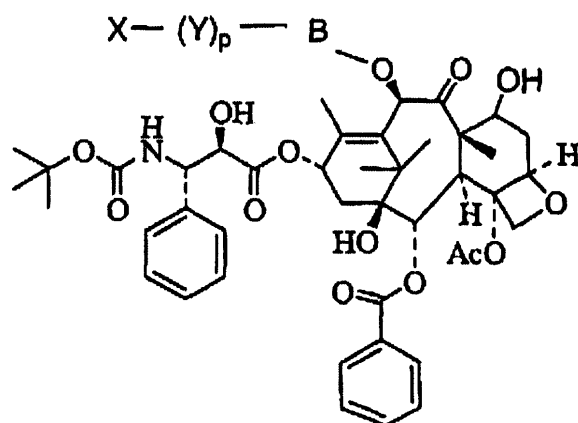
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

試料と、ドセタキセルに反応する抗体と、一般式

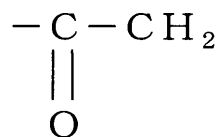
【化 1】



II-A

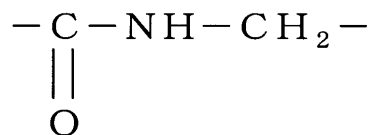
(式中、B は -CH₂-、

【化 2】



又は

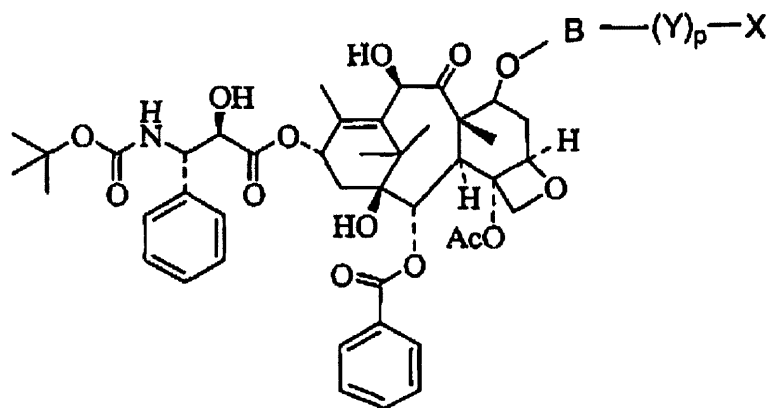
【化 3】



であって、Y は有機スペーシング基、X は担体に結合可能な官能基、p は 0 から 1 の整数である)

の化合物、
一般式

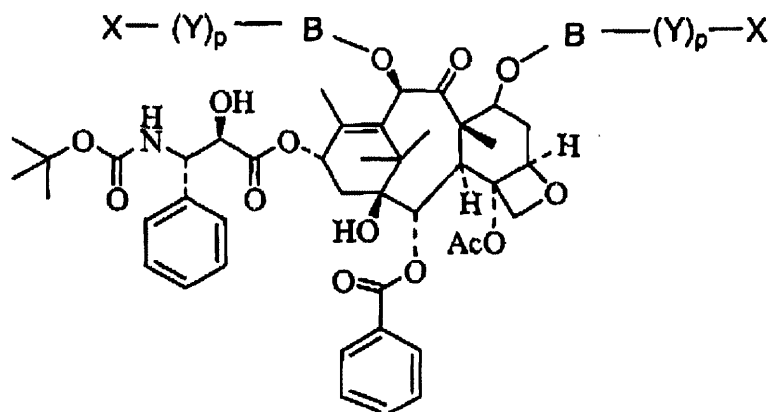
【化 4】

**II-B**

(式中、B, X, Y 及び p は上述のとおり)

の化合物、

【化 5】

**II-C**

(式中、B, X, Y 及び p は上述のとおり)

の化合物

及びその混合物から選択された配位子を伴う担体の共役とを含む混合物を準備することを
含む試料中のドセタキセル検出のための免疫測定法であって、

試料中のドセタキセル及び前記共役を前記抗体と結合させ、その後、前記抗体に結合又は未結合の前記混合物中の前記共役量を測定し、それによって試料中のドセタキセルの存在を測定することができることを特徴とする免疫測定法。

【請求項 2】

請求項 1 記載の免疫測定法であって、一般式 II - A、II - B 及び / または II - C の化合物において p は 0 であることを特徴とする免疫測定法。

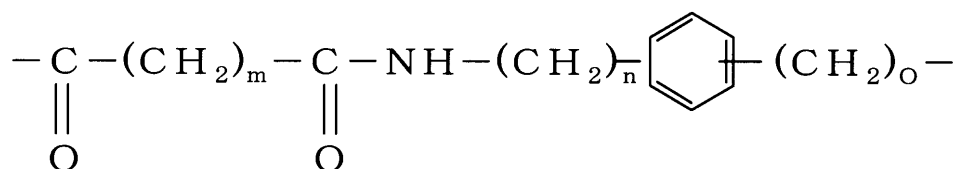
【請求項 3】

請求項 1 記載の免疫測定法であって、一般式 II - A、II - B 及び / または II - C の化合物において p は 1 であることを特徴とする免疫測定法。

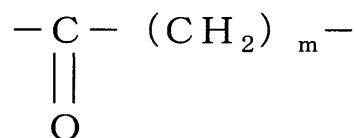
【請求項 4】

請求項 1 又は 2 記載の免疫測定法であって、一般式 II - A、II - B 及び / または II - C の化合物において、Y は 1 から 10 の炭素原子を含むアルキレン、

【化 6】

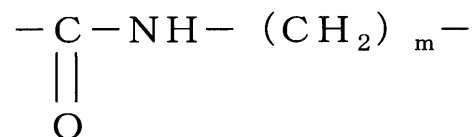


【化 7】



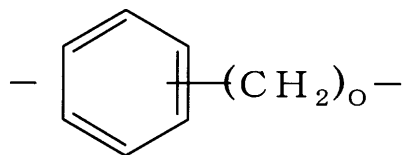
又は

【化 8】



又は

【化 9】

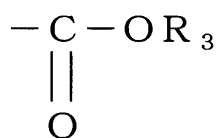


であり、式中 n 及び O は 0 から 6 の整数であり、m は 1 から 6 の整数であることを特徴とする免疫測定法。

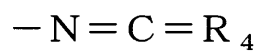
【請求項 5】

請求項 1 から 4 いずれか一項に記載の免疫測定法であって、一般式 II - A、II - B 及び / または II - C の化合物において、X は、

【化 10】

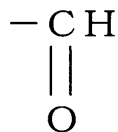


【化 11】



又は

【化 12】

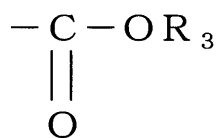


であり、式中 R₃ は水素又はそれに結びつく酸素原子と一緒に得られる反応エステルであり、R₄ は酸素又は硫黄であることを特徴とする免疫測定法。

【請求項 6】

請求項 1 から 5 いずれか一項に記載の免疫測定法であって、一般式 II - A、II - B 及び / または II - C の化合物において、X は、

【化 1 3】

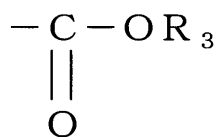


であり、 R_3 は水素であることを特徴とする免疫測定法。

【請求項 7】

請求項 1 から 5 いずれか一項に記載の免疫測定法であって、一般式 II - A、II - B 及び / または II - C の化合物において、X は、

【化 1 4】



であり、 R_3 は反応エステルを形成することを特徴とする免疫測定法。

【請求項 8】

請求項 7 記載の免疫測定法であって、一般式 II - A、II - B 及び / または II - C の化合物において、形成されたエステルは低級アルキルエステル、イミドエステル又はアミドエステルであることを特徴とする免疫測定法。

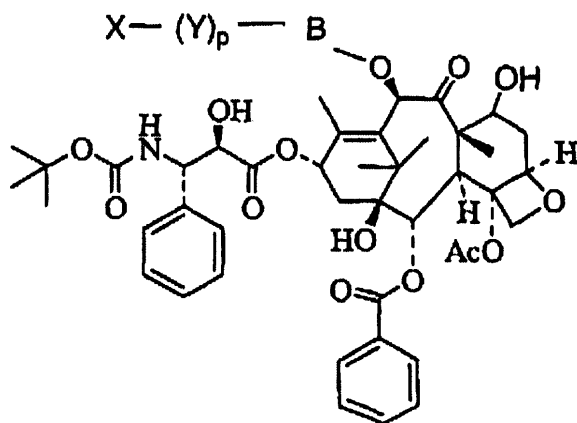
【請求項 9】

請求項 1 から 8 いずれか一項に記載の免疫測定法であって、試料はヒトの試料であることを特徴とする免疫測定法。

【請求項 10】

請求項 1 から 9 いずれか一項に記載の免疫測定法であって、前記抗体は、一般式

【化 1 5】

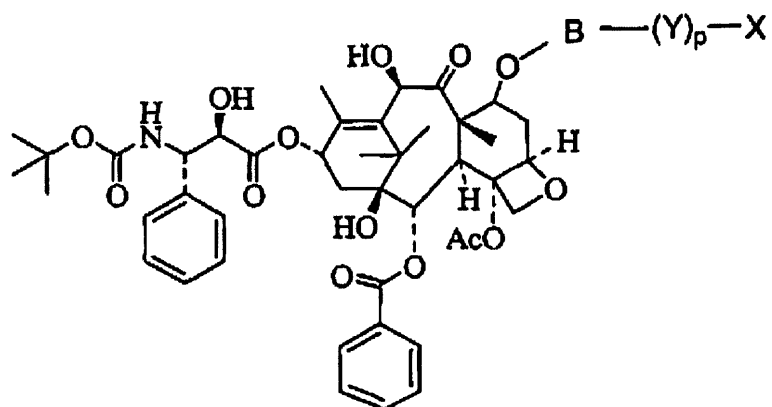
**II-A**

(式中、 p 、 Y 及び B は請求項 1 から 8 のいずれかで規定されるとおりで、 X は担体に結合可能な官能基である)

の化合物、

一般式

【化 1 6】

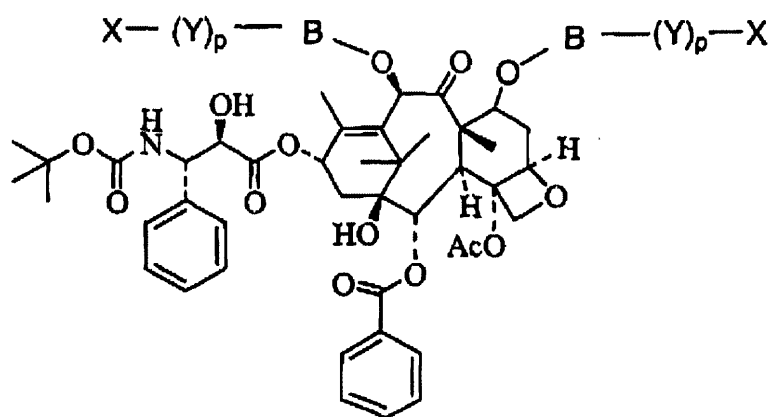
**II-B**

(式中、B, X, Y 及び p は上述のとおり)

の化合物、

一般式

【化 1 7】

**II-C**

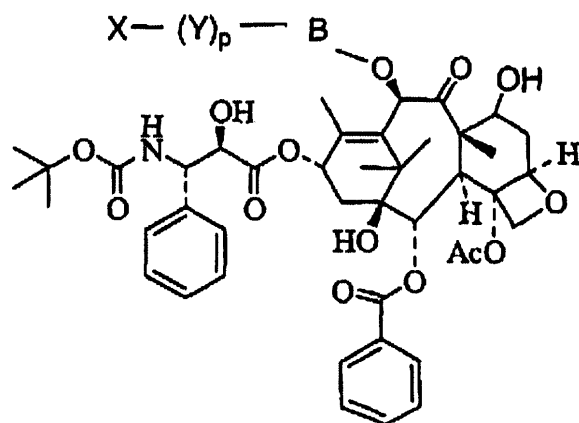
(式中、B, X, Y 及び p は上述のとおり)

及びその混合物を含むグループから選択された配位子に連結する免疫原担体を有する免疫原から生成されることを特徴とする免疫測定法。

【請求項 1 1】

請求項 1 0 記載の免疫測定法であって、前記抗体は、一般式

【化 1 8】

**II-A**

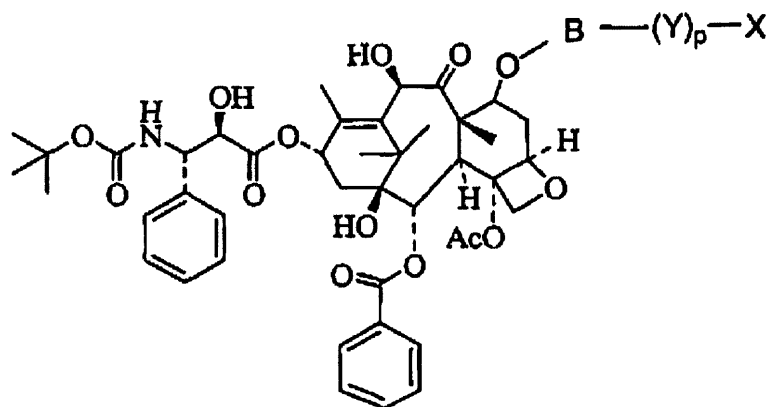
(式中、B、X、Y 及び p は請求項 1 から 8 のいずれかで規定されるとおりである)

の配位子を伴う免疫原担体の免疫原から誘導されることを特徴とする免疫測定法。

【請求項 1 2】

請求項 1 0 記載の免疫測定法であって、前記抗体は、一般式

【化 1 9】

**II-B**

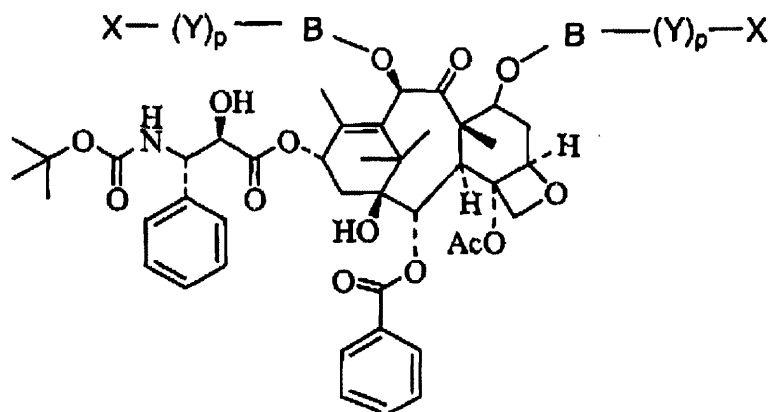
(式中、B、X、Y 及び p は請求項 1 から 8 のいずれかで規定されるとおりである)

の配位子を伴う免疫原担体の免疫原から誘導されることを特徴とする免疫測定法。

【請求項 1 3】

請求項 1 0 記載の免疫測定法であって、前記抗体は、免疫原ポリアミンポリマー及び一般式

【化 2 0】

**II-C**(式中、B、X、Y 及び p は請求項 1 から 8 のいずれかで規定されるとおりである)

の配位子から誘導されることを特徴とする免疫測定法。

【請求項 1 4】

請求項 1 から 1 3 いずれか一項に記載の免疫測定法であって、前記抗体は固形支持体に付着していることを特徴とする免疫測定法。

【請求項 1 5】

請求項 1 4 記載の免疫測定法であって、前記固形支持体はマイクロタイタープレートであることを特徴とする免疫測定法。

【請求項 1 6】

請求項 1 4 記載の免疫測定法であって、前記固形支持体は微粒子であることを特徴とする免疫測定法。

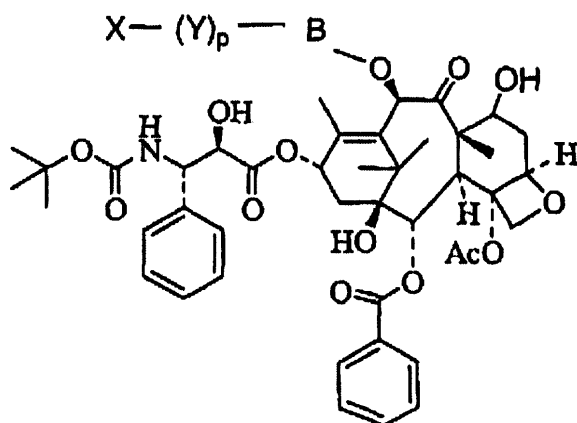
【請求項 1 7】

ドセタキセルに反応し、実質的にタキソールに反応しないことを特徴とする抗体。

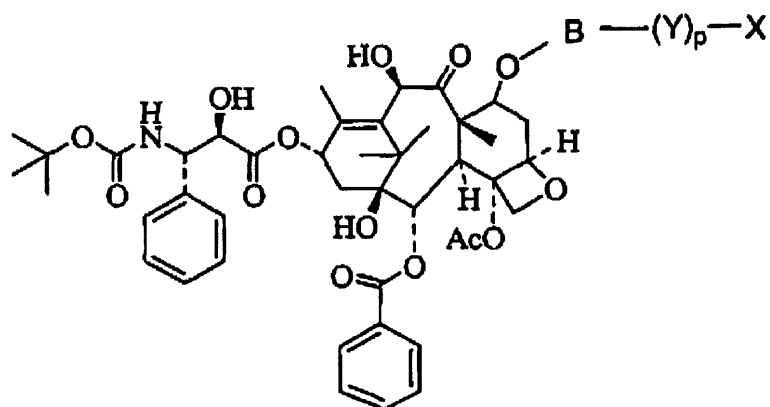
【請求項 1 8】

請求項 1 7 記載の抗体であって、前記抗体は、一般式

【化 2 1】

**II-A**(式中、B、X、Y 及び p は請求項 1 から 8 のいずれかで規定されるとおりである)の化合物、
一般式

【化 2 2】

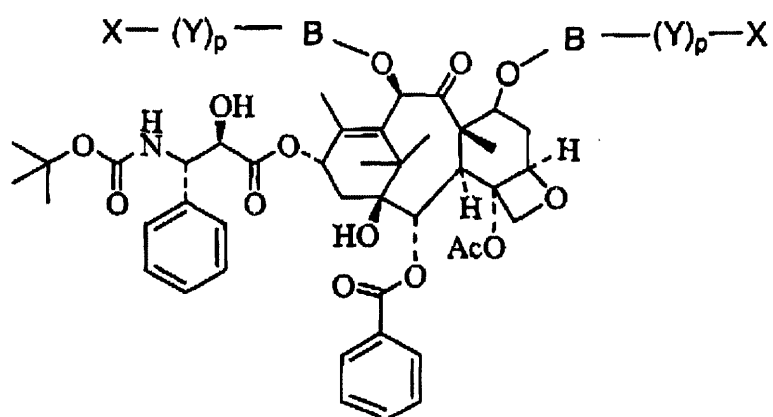
**II-B**

(式中、B, X, Y 及び p は上述のとおり)

の化合物、

一般式

【化 2 3】

**II-C**

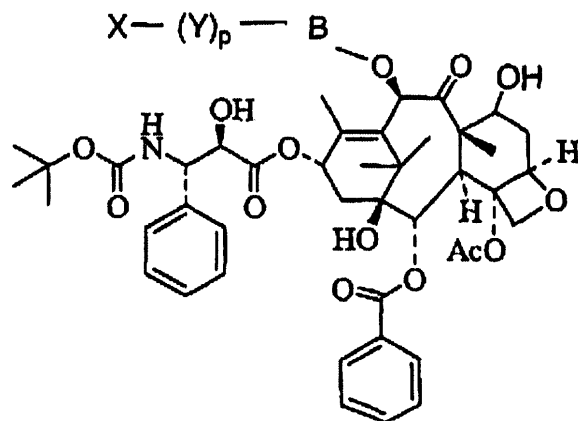
(式中、B, X, Y 及び p は上述のとおり)

の化合物及びその混合物を含むグループから選択された配位子に連結された免疫原担体を含む免疫原から生成されることを特徴とする抗体。

【請求項 19】

請求項 18 記載の抗体であって、前記抗体は、一般式

【化 2 4】

**II-A**

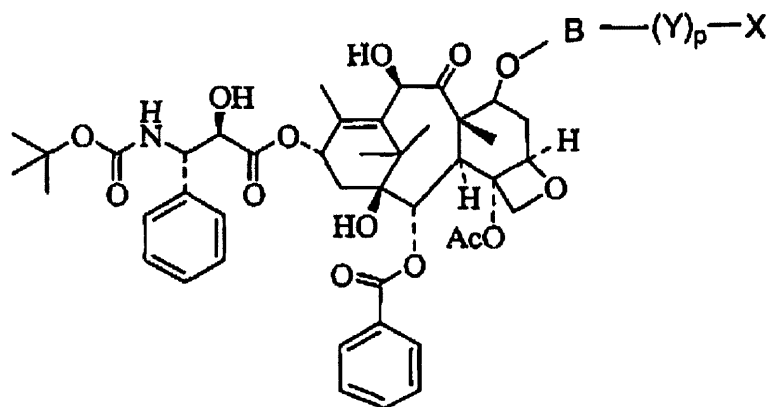
(式中、B、X、Y 及び p は請求項 1 から 8 のいずれかで規定されるとおりである)

の配位子を伴う免疫原担体の免疫原から誘導されることを特徴とする抗体。

【請求項 2 0】

請求項 1 8 記載の抗体であって、前記抗体は、一般式

【化 2 5】

**II-B**

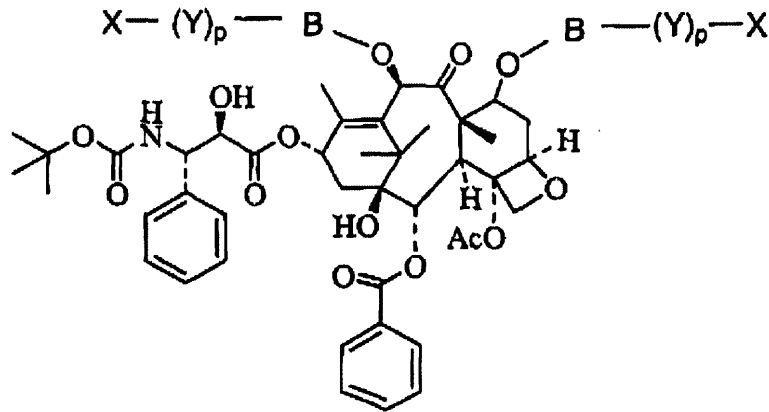
(式中、B、X、Y 及び p は請求項 1 から 8 のいずれかで規定されるとおりである)

の配位子を伴うポリアミンポリマーの免疫原から誘導されることを特徴とする抗体。

【請求項 2 1】

請求項 1 8 記載の抗体であって、前記抗体は、一般式

【化 2 6】

**II-C**

(式中、B、X、Y 及び p は請求項 1 から 8 のいずれかで規定されるとおりである)

の配位子を伴う担体の免疫原から誘導されることを特徴とする抗体。

【請求項 2 2】

請求項 1 から 1 6 いずれか一項に記載の免疫測定法または請求項 1 7 から 2 1 いずれか一項に記載の抗体であって、前記抗体はマウス、ウサギ又はラットから誘導されることを特徴とする免疫測定法又は抗体。

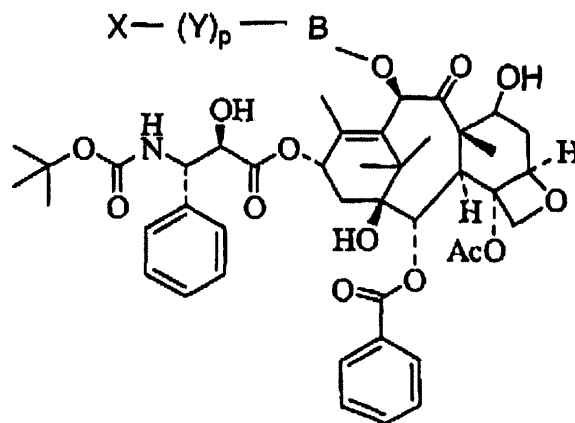
【請求項 2 3】

請求項 1 から 1 6 いずれか一項に記載の免疫測定法または請求項 1 7 から 2 1 いずれか一項に記載の抗体であって、前記抗体はモノクローナル抗体であることを特徴とする免疫測定法又は抗体。

【請求項 2 4】

一般式

【化 2 7】

**II-A**

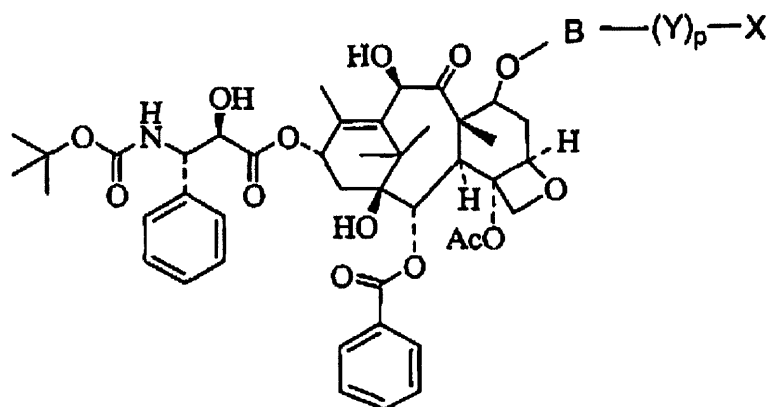
(式中、B、X、Y 及び p は請求項 1 から 8 のいずれかで規定されるとおりである)

であることを特徴とする化合物。

【請求項 2 5】

一般式

【化 2 8】

**II-B**

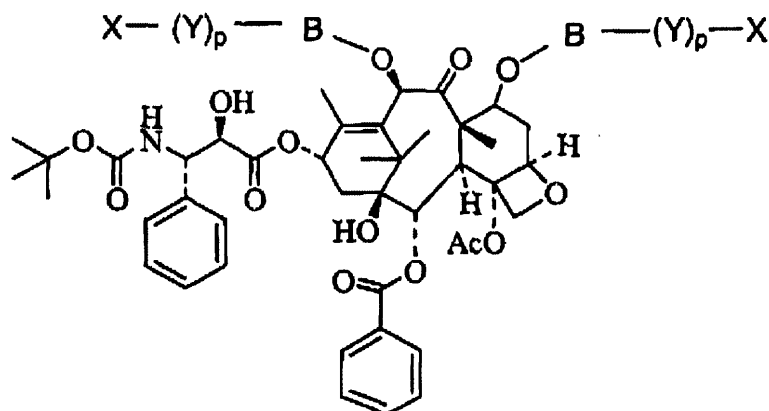
(式中、B、X、Y 及び p は請求項 1 から 8 のいずれかで規定されるとおりである)

であることを特徴とする化合物。

【請求項 2 6】

一般式

【化 2 9】

**II-C**

(式中、B、X、Y 及び p は請求項 1 から 8 のいずれかで規定されるとおりである)

であることを特徴とする化合物。

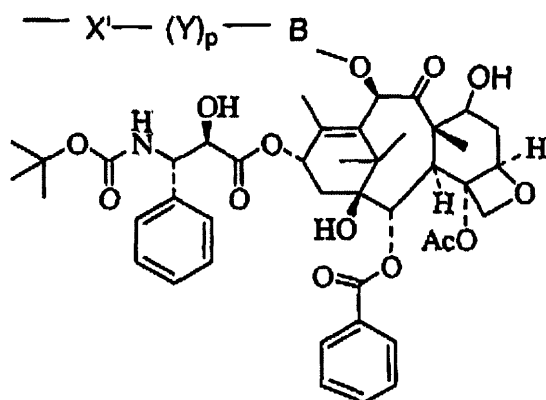
【請求項 2 7】

請求項 2 4 から 2 6 いずれか一項に記載の化合物であって、前記担体はポリアミンポリマーを含むことを特徴とする化合物。

【請求項 2 8】

一般式

【化 3 0】

**III-A**

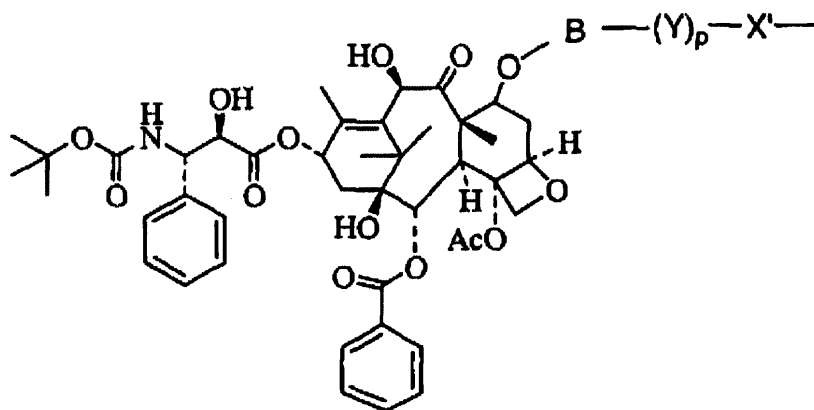
(式中、B、Y 及び p は請求項 1 から 8 のいずれかで規定されるとおりであり、

X' は -CH₂- 又は担体に結合可能な官能結鎖基である)
 の配位子一部分に連結した担体を含むことを特徴とする共役。

【請求項 2 9】

一般式

【化 3 1】

**III-B**

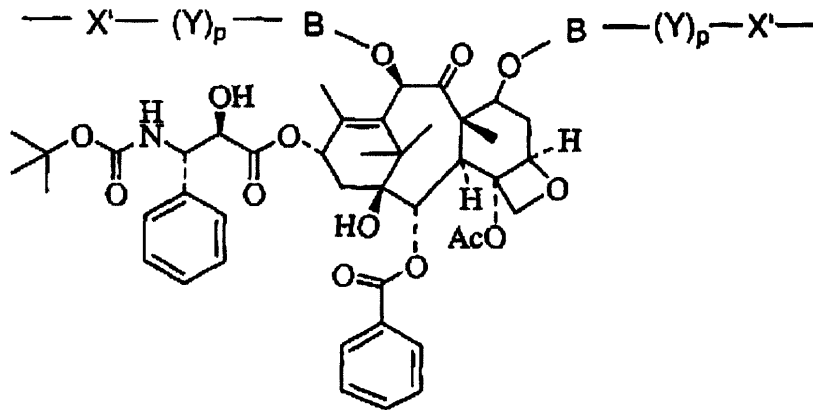
(式中、B、Y 及び p は請求項 1 から 8 のいずれかで規定されるとおりであり、

X' は -CH₂- 又は担体に結合可能な官能結鎖基である)
 の配位子一部分に連結した担体を含むことを特徴とする共役。

【請求項 3 0】

一般式

【化 3 2】

**III-C**

(式中、B、Y及びpは請求項1から8のいずれかで規定されるとおりであり、

X'は-CH₂-又は担体に結合可能な官能結鎖基である）
 の配位子一部分に連結した担体を含むことを特徴とする共役。

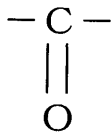
【請求項31】

請求項28から30いずれか一項に記載の共役であって、前記担体はポリアミンポリマーを含むことを特徴とする共役。

【請求項32】

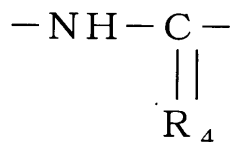
請求項28から31いずれか一項に記載の共役であって、X'は、

【化 3 3】



又は

【化 3 4】



であり、R₄は酸素又は硫黄であることを特徴とする共役。

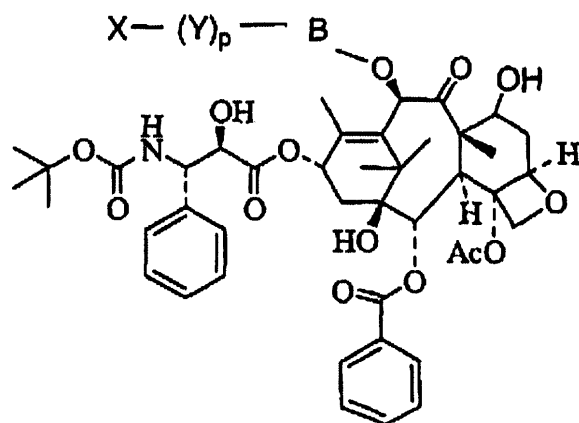
【請求項33】

請求項28から32いずれか一項に記載の共役であって、前記ポリアミンポリマーは免疫原ポリマーであることを特徴とする共役。

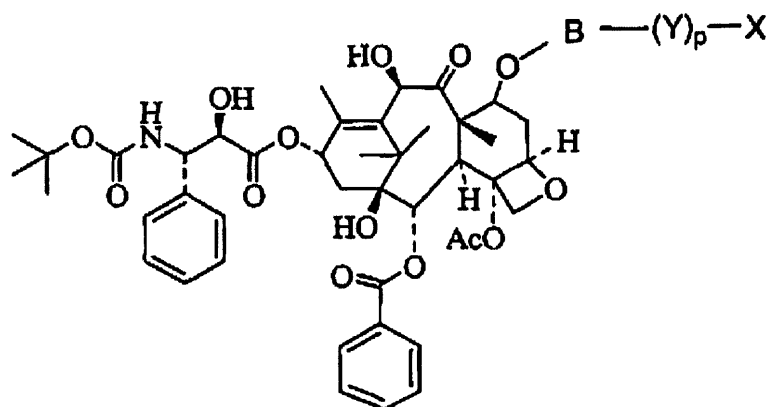
【請求項34】

分離した容器に詰められた試薬を含む患者試料中のドセタキセルの存在を検出するキットであって、
 試薬の1つはドセタキセルに反応し、他の試薬は一般式

【化 3 5】

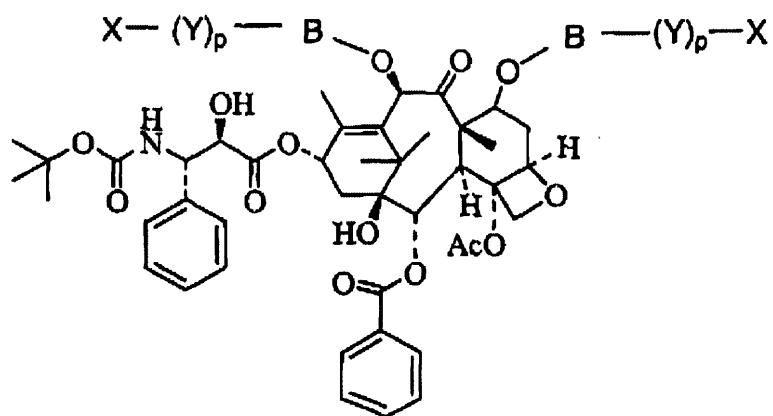
**II-A**(式中、B、X、Y 及び p は請求項 1 から 8 のいずれかで規定されるとおりである)

の化合物、
一般式
【化 3 6】

**II-B**

(式中、B、X、Y 及び p は上述のとおり)

の化合物、
【化 3 7】

**II-C**

(式中、B、X、Y 及び p は上述のとおり)

の化合物

及びその混合物から選択された配位子を伴う担体の共役であることを特徴とするキット。